



Sustainable Development Goals #03

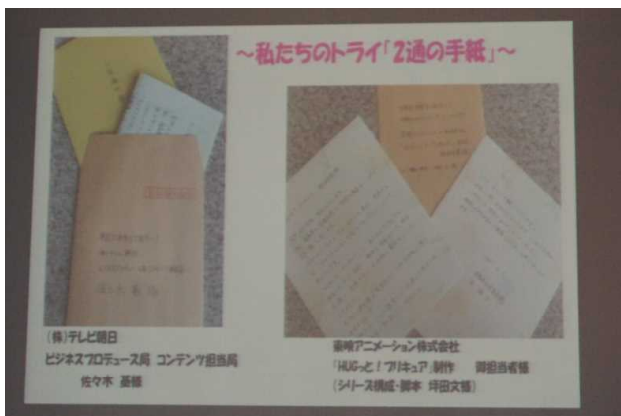
# 安達高校 × SDGs

安達高校では、東日本大震災の経験を踏まえ、平成24年からユネスコスクールとして「復興教育」「国際理解教育」に取り組んでいます。9月2日（木）、二本松市民会館を会場に、今年で8回目となる「令和3年度安達高等学校ユネスコスクール公開ESD発表会」が行われ、午前は2年生各クラス代表の計8班、午後はホームプロジェクト、自然科学部の2班による研究発表、及び活発な質疑応答がなされました。



【地域についての研究発表】

安達高校は県内の高等学校では唯一のユネスコスクールとして、「ESD（持続可能な開発のための教育）」と「SDGs（持続可能な開発目標）」を軸とし、生徒が主体的に課題を設定し、探究活動を行う学びに力を入れています。当日の発表では、人口減少や地域活性化、防災やエネルギー問題など地域が抱える諸課題から、「いじめ」や「SNS」、「ジェンダー」、「フードロス」といった日常生活とも密接に関わる諸問題、さらには「プラスチックゴミ」や「医療格差」などの地球規模の問題まで、幅広い分野にわたる探究活動の成果が披露されました。ステージ上では、寸劇を交えたり、再現VTR（ロールプレイ）を取り入れたりするなど、各班ごとに多様な形態のもと趣向を凝らした発表が繰り広げられました。また、幅広い視点から客観的な調査・探究活動になるよう、校内生徒からのアンケート収集はもちろん、地元企業や自治体職員、教育関係者からの聞き取り、さらには、テレビ局の番組関係者への問合せを行うなど、様々な創意工夫を感じました。



【テレビ番組のジェンダーに関する発表資料】



【再現VTRを取り入れた研究発表】

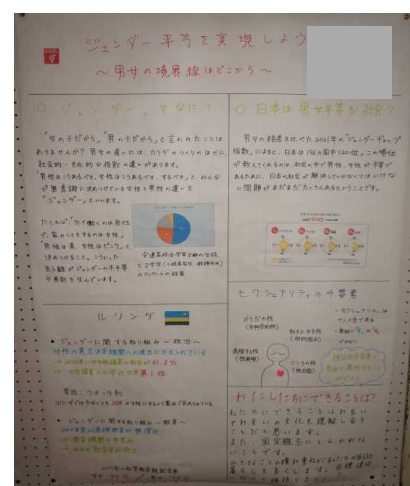
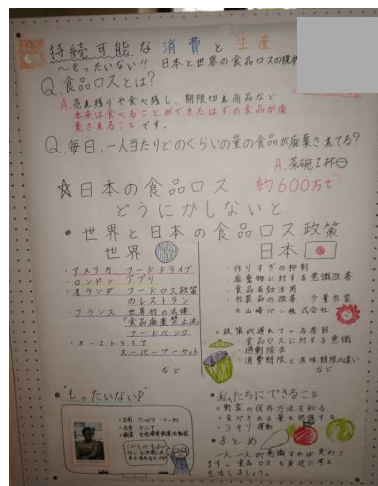
発表会の最後には、JICA二本松所長の田中宏幸様より講評をいただきました。田中所長が赴任した国々での実体験を交えた話や、各班の発表に対する多様な視点からの感想や激励、時に厳しい指摘は、生徒にとってさらなる探究活動に向けた刺激となり、知的好奇心が育まれるきっかけとなったはずです。

□ 発表内容

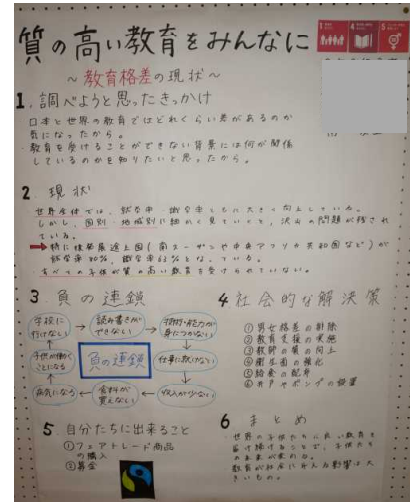
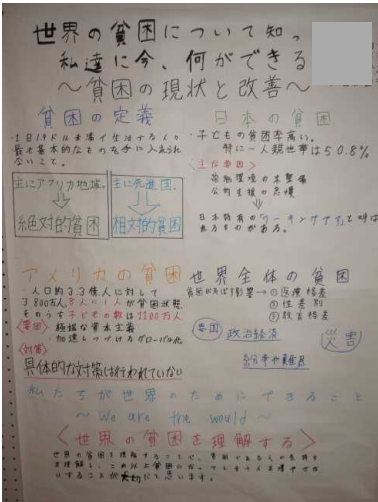
- ① 陸から海へ～移動するゴミ～
- ② 女の子になる、男の子になる、わたしになる～子どもを取りまく文化とジェンダー～
- ③ あなたが主人公～安達高校から始めよう～
- ④ Let's think～使いやすいSNSを目指して～
- ⑤ 先進国と発展途上国の医療格差～未来ある子供たちのために～
- ⑥ 日本が抱えるプラスチック問題～地球を守るために～
- ⑦ 住み続けられる二本松～二本松の発展にみるSDGsの本質～
- ⑧ 原子力に依存しない世界～エネルギーをきれいに～
- ⑨ ホームプロジェクト個人研究 食品ロスを考える～簡単エコクッキング～
- ⑩ 自然科学部研究 水害について～自分自身を守るために～



☆ 会場入口から観客席までのエントランスホールには、22枚のポスターが展示され、生徒はもちろん来場した保護者や教育関係者が足を止め、興味深く見入っていました。



コロナ禍で社会問題化した「生理の貧困」。これまではタブー視されてきた「生理」をテーマに取り上げた班もありました！



【生徒が作成したポスター】

「ジェンダー」をテーマにした発表が最多を占めました。SDGsを切り口に、身近な問題やグローバルな課題への探究活動をとおして、安達高校生の視野が確実に広がっていることがうかがえました！

